

経営比較分析表

佐賀県 神埼市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	31.02	85.00

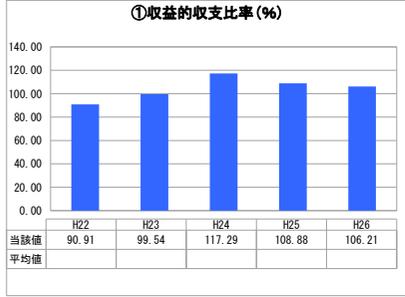
1か月20m³当たり家庭料金(円) 3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,569	125.13	260.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,051	2.91	3,453.95

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

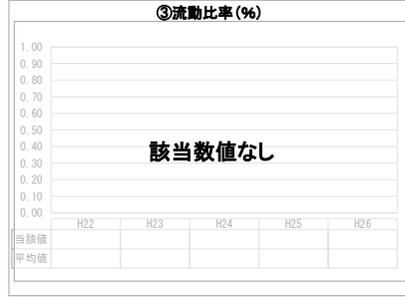
1. 経営の健全性・効率性



「単年度の収支」



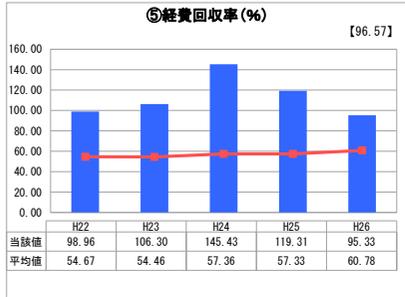
「累積欠損」



「支払能力」



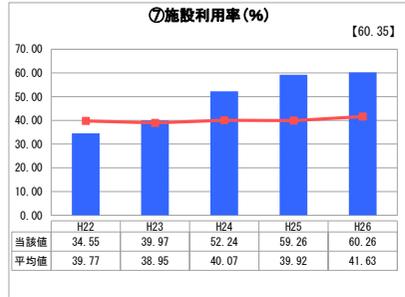
「債務残高」



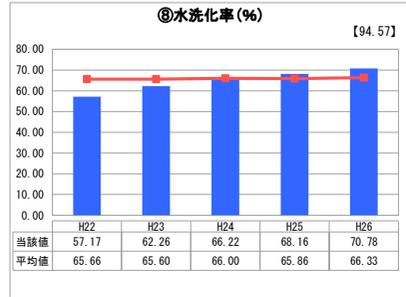
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

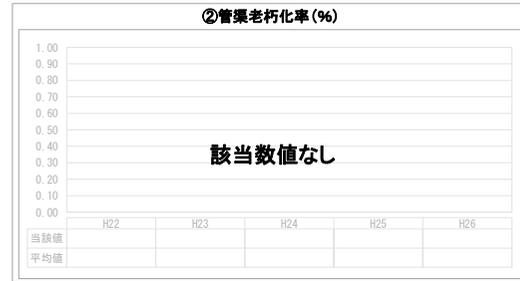


「使用料対象の捕捉」

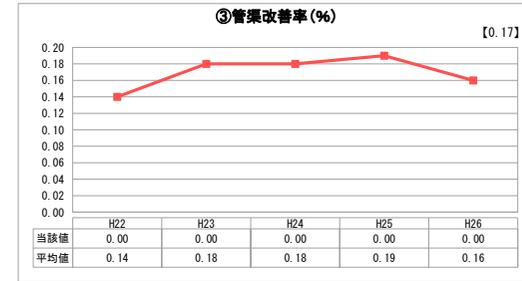
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、平成26年度決算で100%を上回っているため収支が黒字の状態である。今後も、更なる経費削減を行い、健全経営を継続させていくよう努める。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値と比較すると、大きく下回っている。また、経年比較を行うとやや減少傾向である。経費回収率については、平成25年度決算では100%を上回っていたが、平成26年度決算では下回っている。また、類似団体平均値と比較すると、大きく上回っている。今後も適切な料金収入の確保を図り、経営の効率性を高めるよう努める。

汚水処理原価については、類似団体平均値と比較すると、例年下回っている。経年比較をすると、平成24年度までは減少傾向であったが、それ以降は増加傾向となっている。

施設利用率については、類似団体平均値と比較すると平成22年度は下回っていたが、平成23年度には同水準となり、それ以降は上回って推移しており、経年比較をすると増加傾向である。

水洗化率については、経年比較を行うと一貫して増加しており、類似団体平均値と比較すると、平成24年度以降は、平均値よりやや高い水準で推移している。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、管渠の耐用年数が約50年であり、整備が平成10年から開始されており、耐用年数を超えたものがないため、管渠の更新等は行っていない。そのため、管渠改善率の数値は計上されていない。

全体総括

収益的収支比率が100%を上回っており、収支が黒字であるため健全な経営を行っているが、更なる一般財源からの繰り入れの減少に努める。経費回収率は、これまで100%以上で推移してきたが、平成26年度では100%を下回ったため、更なる経費削減を行い、健全な経営を継続していくよう努める。

また、施設利用率や水洗化率も増加傾向であるため、今後も、増加傾向で推移していくよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。